

論文査読セミナー（２）

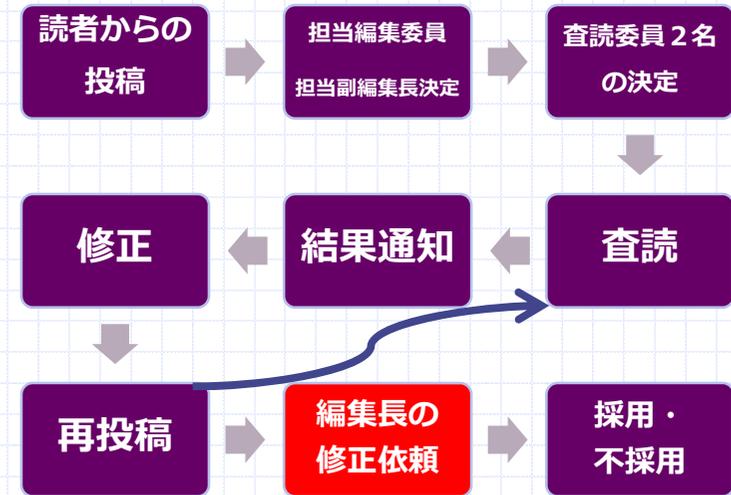
一査読者が指摘する共通のポイント

東京大学・神馬征峰

mjimba@m.u-tokyo.ac.jp

27 January, 2013

査読プロセス



不採用のワケ

- 本誌の目的
- ロジック
- 研究デザイン
- 修正に超時間

- 健康教育
- ヘルスプロモーション

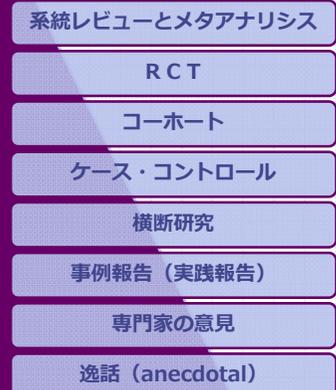
- パラグラフライティング

- 執筆要領（文献・統計ガイドライン）
- 研究デザインの不備

研究デザイン：エビデンスのヒエラルキー

(<http://www.shef.ac.uk/scharr/ir/units/systrev/index.htm>)

研究価値のヒエラルキーではない



脱線 1 : 研究から実践へのコンテキスト

- ◆多くの社会学者はこのヒエラルキーは受け入れがたいと思っている
- ◆これは介入効果(effectiveness)のアセスメントに用いられる研究デザイン
- ◆社会科学（公衆衛生）では別のヒエラルキーもありうる

脱線 2 : エビデンスの強さと重さ

■メタアナリシスと系統的レビュー:

- エビデンスの強さに関心
- RCTなどのまとめ
- エビデンスの重み(実際に現場でどう役立つか)は軽視
 - ◆ 非実験的データ、準実験的研究データ
 - ◆ 実践家の活動報告や評価報告
 - ◆ 現場での実践経験や現場状況の分析から得られる知恵(Wisdom)の蓄積
(By Lawrence Green)

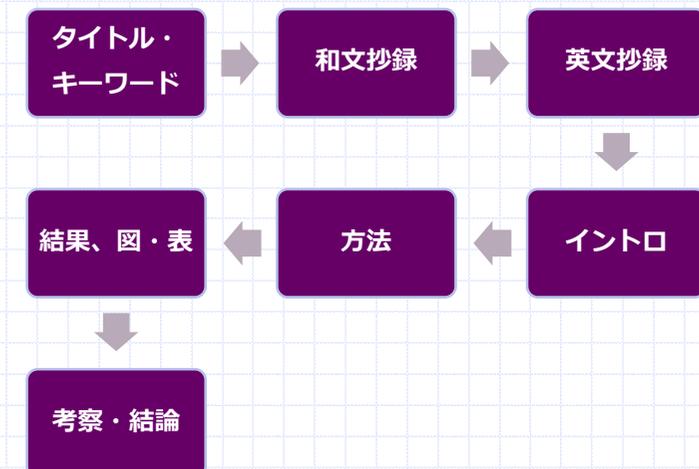
6

脱線 3 : 知的メタボリック症候群



- ◆なんでも知っているバカがいる
(内田百閒)
- ◆知的メタボリック症候群
(外山滋比古)
- ◆データを見て患者をみない

査読のポイント



タイトル・キーワード

- MeSH = Medical Subject Headings : 医学件名標目表
- 弁当、弁当箱一なし
- 給食？
- ◆ 技術, 産業, 農業(j01+)
 - 産業(j01-50+)
 - ◆ 食品工業(j01-50-50+)
 - 給食(j01-50-50-10+)
 - 献立計画(j01-50-50-10-10)
 - 病院給食(j01-50-50-10-20)
 - レストラン(j01-50-50-10-30)

類似論文として引用されやすくなる

和文抄録

小見出し：目的、方法、結果、結論

目的：研究目的

無

方法：研究デザイン、対象集団、分析方法

無

結果：結論をサポートする具体的なエビデンス
(時に数値を用いた根拠)

結論：目的に対応する結果の総まとめ

英文抄録

和文完成後に作成

国際的に読まれるのはここだけ

プロの編集

和文抄録でロジックを整えてから英文に

- ネイティブスピーカー=英文編集者とは限らない
- 文法ミスの修正=英文編集ではない

パラグラフ・ライティング

イントロ

1 文献レビュー

(何がわかっているのか?)

古い文献

2 何がわかっていないのか?

結果との不一致

3 目的
だから何をしたいのか?

弱い動詞—
比較する...
現状を把握する...

方法：査読の要

研究デザイン：書かれていない場合あり

対象：一般読者というより査読者（専門家）に書くつもりで

再現性：この研究はこの方法に従えば再現可能か？

質問紙：独自に開発した質問紙の使用は危険（妥当性・信頼性）

結果、図・表

統計ガイドラインに沿っていない

図や表の数が多すぎる（10枚は多すぎ、目安は最大5枚）

図や表と本文のバランス
• 図表のデータのうち主要な知見を本文中に記載

Nなしの%
• 全体の意味するものがわからない

考察・結論の展開

主要知見のまとめ

イントロ・方法の繰り返しを避ける

個々に考察（既存の文献）

パラグラフ・ライティングを上手に

限界と長所（研究の意義）

総論的なものとせず具体的に

結論・提言

長い結果の繰り返しはしない

段落とパラグラフ

段落

• 長い文章中の大きな切れ目、区切り

パラグラフ

• 1つのトピックを述べる（段落にはこの決まりはない）

パラグラフの構造

トピックセンテ
ンス

サポーティングセ
ンテンス

(結論センテ
ンス)

- ◆ 1パラグラフの目安は
4～8文
- ◆ 1ページに2～3パラ
グラフ
- ◆ 1ページに1パラグラ
フ以上ということはま
ずありえない

パラグラフ・ライティング



日本語ライティング



- 1 「ノダル、ノダを消せ」(文章すっきり・強くなる)
- 2 「が、」を使うな！(文が長くなる、話がゆるく曖昧になる)



「・・・と考
える」は全面カッ
ト

原則はわかったとしても？ 一文禄・慶長の役(1592)からの学び

武経七書(孫子、呉子などの兵学の基本書)

- 韓国エリートは暗記(机上では優等生)
- 日本武將は最初の半行も読めず(劣等生)

いざ実戦

- 劣等生の勝利

なぜか？

- 武経七書をマスターした「物読み坊主」からの耳学問
- 七書のエッセンスを坊主から学び実戦経験豊富
- 山本七平：参謀学—孫子の読み方、日本経済新聞社、1986 pp 11-26